



新年のごあいさつ

会長

久慈士郎



令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととおよろこび申し上げます。旧年中は本会の円滑な活動に多大なご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございました。役員一同心から感謝申し上げます。

昨年6月23日、東天紅上野店で開催された「野田はまなす会総会・交流会」は前号の「はまなす通信」にて紹介のとおり盛会に開催することができました。

10月6日には、日帰りレクリエーションの一環として千葉県松戸市21世紀の森BBQ会場にて、村役場の支援、協力を得て、今回初めての取り組みとなる、野田村の応援サポーター「心はいつもものだ村民」の皆さまと交流しながらバーベ

キュー大会を開催しました。野田村から小田村長はじめ職員3人の参加者があり、総勢44人で「食べて・飲んで・ふるさとを語る会」を合言葉に野田村の特産品を囲んで多いに盛り上がりしました。

サポーター会員から「野田村には行ったことはないが、いつも応援をしています」との言葉に感激した次第です。

私たちの活動も社会の変化と無縁ではなく、近年の少子高齢化と個人意識の変化が大きく様変わりした現在、従来の活動スタイルを見直すべき転換の意識改革が必要であると考えます。これからも行政との連携・協働をさらに進め、深化させたいです。会の運営も会員減少、後継役員の確保に苦戦している現状を直視し、上述した交流会を通して会の活性化と野田村の発展に貢献できれば、との思いで

先輩方が苦勞して築かれた「野田はまなす会」を次世代につなぐ必要があります。

そして、11月30日～12月1日の2日間にかけて、北マルシェ「岩手・野田村・北区連携マルシェ2024」が王子駅そばの飛鳥山公園にて開催されました。小田村長、岩手県高橋東京事務所長、山田北区長と歓談後安家川の鮎の塩焼き、山ぶどうワインを堪能しました。はまなす会でも全役員に周知を図ったものです。

昨年を振り返るとさまざまな出来事が私たちの生活に大きな影響を与えました。特に元旦の能登半島地震翌日には旅客機と海保機の衝突事故、そして不況を引き起こす物価高、熾烈な自然災害が印象的でした。スポーツ面では圧倒的に岩手県出身の大谷翔平選手が世界に注目され、大きな話題となりました。

最後になりますが、会員の皆さま、野田村民の皆さまのご多幸と野田村の益々の飛躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

野田村長

小田 祐士



明けましておめでとう
ございます。

貴会の皆さまにおかれましては、日頃からふるさとである野田村のため、心温まるご支援とご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

本年の初日の出は、雲を乗り越え、暖かみのあるオレンジ色の光が差し込みました。この初日の出のように、希望にあふれる1年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年は、不安定な世界情勢に伴う記録的な物価高騰のほか、気候変動による第一次産業、特に水産業への大きな影響がありました。

また、依然として、担い手・後継者不足による中小企業の持続的な経営への影響が懸念されており、村内経済にもさまざまな課題が見られた1年

でありました。

そのような中で、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の高橋や岩手県出身の大谷翔平選手の活躍、村の子どもたちの各種大会での躍動など、村民に勇気や活力を与える出来事もありました。

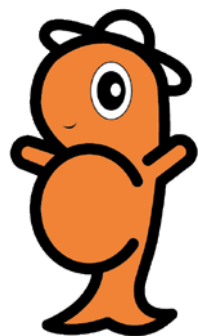
さて、昨年は、貴会の総会・ふるさと交流会のほか、日帰りレクリエーションにも参加させていただきました。野田村の食材を参加者の皆さまと堪能しながら、村について語り合うことができ、とても有意義な時間となりました。本村の準村民制度「心はいつものだ村民」の皆さまにもご参加いただき、人口減少が進んでおりますが、野田村が元気になるためには、このような交流が重要だと思っております。

本年の村の状況とし

しては、一昨年度に着手した小学校移転工事のほか、新たな地方創生の場となる「交流物産等複合施設」整備事業の工事が完了します。将来にわたり、村民の笑顔と活力をつなげていくためには、野田村の村民全員が知恵を出し合い、力を合わせ、村全体で一致団結し、目の前の課題に取り組む必要があります。

これからはさまざまな施策を、点から線へ、そして面へと展開し、また、これまでに生まれた多様な交流・つながりを大切にしながら、新しい地域づくりを進めることが重要と考えています。

結びに、貴会のより一層のご発展と会員の皆さまにとって幸多き1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。あいさついたします。



日帰りレクリエーションの様子を写真で紹介



久慈会長の乾杯の発声でスタート！



小田村長によるあいさつ



野田村安家川の鮎を用意



食べて、飲んで、会話にも華が咲きます



心はいつものだ村民から自己紹介



地元の味を思い出す田楽豆腐も！

会員の声

「日帰りレクに参加して」



副幹事長
志村 良子
(旧姓・小田)
北区出身・
野田中平成元年卒

昨年の10月6日、千葉県松戸市の「21世紀の森と広場」のバーベキュー場にて、「飲んで・食べてふるさとを語る会」が開催されました。このイベントは、毎年6月に開催される「野田はまなす会総会」と、秋に1都3県で行われる「野田はまなす会」の「日帰りレクリエーション」の定例行事です。今年は東京地区が担当となり、都内での開催案もありましたが、野田村の役員職員からの「心はいつものだ村民登録者との交流を深める場を」という意向を受け、近年利用して手馴れている会場でのバーベキュー開催となりました。

まなす会」会員27人、「心はいつものだ村民」登録者9人、「野田村と交流がある」4人、さらに「野田村から村長と職員」4人が参加し、総勢44人が集まりました。

前日に野田村から直送された新鮮な食材の南部福来豚10kg、安家川の鮎、田楽豆腐と味噌、大きなシイタケ、野田塩焼きソバ、ベアレンビール、野田村の山ぶどうワインなどが届けられました。野田村といえば、荒海ホタテが有名ですが、今年は残念ながら貝毒の影響でホタテの提供は叶いませんでしたが、市内のスーパで調達した、各種飲み物など80ℓ、野菜類合わせて計120kgを会場では、4つのテーブルを囲み、大きなタライで冷やされた飲み物を手にしながら、汗を流して焼く人、食べる人、話に夢中な人、皆さん飲んで、食べて、「ふるさとの味」を満喫しながら、参加者全員で交流を深めました。

イベント中には、ふるさとにちなんだクイズ大会も行われ、参加者はにぎやかな雰囲気の中で景品を手にしていました。

普段なかなか会うことができない「心はいつものだ村民」の登録者や、村長、村の職員との直接の交流が深まり、参加者にとって特別な1日となりました。

「飲んで・食べてふるさとを語る会」は、野田村出身者やその関係者、「心はいつものだ村民」登録者などで、都内および近郊在住の皆さんで野田村の懐かしい話のみならず、ふるさとの様子を語り合い、何が魅力なのかを語るなど、新たな交流を生む場として、ふるさととのつながりを深める絶好の機会となり、参加者にとってかけがえのない時間となりました。

次回もさらに多くの皆さんに参加していただき、ふるさとの魅力と絆を深められることを楽しみにしています。

「はまなす会員の皆さまと交流して」



心はいつものだ村民
町田 恵太郎
東京都
清瀬市出身

皆さま初めまして！心はいつものだ村民会員No.916の町田と申します。

私は東日本大震災の復興支援員として2012年10月から5年間、野田村役場で荒海ホタテや山ぶどうなど地域を盛り上げるお手伝いをしておりました。現在は地元である東京都清瀬市と野田村を行き来して、三陸地域の宝物を皆さんにお伝えする三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルの現地ガイド、漁港を使ったシーカヤックイベントなどをしています。

今回初めて千葉県松戸市で行われたはまなす会と心はいつものだ村民の交流会に参加させていただき、とても楽しかったです。会場では野田村から持ってきた鮎や田楽豆腐

腐、南部福来豚などが野田村にいた時のおいしい食材が千葉県でも食べられるという喜びが先立っていました。はまなす会の皆さんと会えることが出来なかつたのですが、野田村大クイズ大会の頃には、たくさんの方とお話することができ、とても楽しい時間を過ごせました。

ちなみに私は会場ではひたすら田楽豆腐を焼いておりましたが覚えていませんでしょうか？皆さん待ちきれずに、我先にと冷たい田楽豆腐を取って、焼き台に戻していた思い出が懐かしいです。

交流会の最後には、せんえつながら、ごあいさつをさせていただきましたが、岩手県ですら縁もゆかりもなかった私が心はいつものだ村民となり、このように皆さんとつながることができてとてもうれしく思います。今後も野田村の魅力を発信していきますので、何卒よろしく願います。

飛鳥山公園で

野田村マルシェ

幹事長 坂本 悟

昨年の11月30日、東京都北区飛鳥山公園にて「岩手・野田村・北区連携マルシェ2024」が開催され、山田北区長、岩手県東高橋京事務所長、野田村からは小田祐士村長のほか、3人が参加し、はまなす会メンバーは、12時現地集合で6人が応援に駆け付けました。

飛鳥山公園は、天気も良く爽やかな初冬という感じの日で、イベント会場には、いくつものキッチンカーや飲食テントが並び、子ども連れの家族、紅葉を見に来た人たち、大道芸、マジックショーでにぎっていました。

イベント会場の舞台では、盛岡の「わんこそば」食べ比べが、子ども優先で、「♪はい、じゃんじゃん♪はい、どんどん」の掛け声付きで、親子が挑戦し、大いに盛り上がりつつありました。その最中に、舞台袖から、ソロリ、ソ

ロリと、なんと、我が野田村のゆるキャラ「のんちゃん」が登場し、一緒に応援をすると、子どもたちはパニックに。食べるのもそこそこ、「のんちゃん」に興味津々、会場の子どもたちが集まり、大きなお腹に抱きついたり、なでたり「きもちいい」とか、握手をするなど、たいそうな「もてぶり」でした。

野田村特産の、安家川のアユをこんがり焼いたものが、飛ぶように売れ、すぐ品切れとなっていました。楽しいイベントにご尽力していただいた関係者の皆さま、大変ありがとうございました。



みんなで記念撮影

第3回役員会の開催(1月19日:目利きの銀次虎ノ門店)

第3回役員会は、役員9人が参加して開催されました。久慈会長、桜庭顧問のあいさつのもと、右記内容の報告や連絡などがありました。



役員会集合写真

○報告

- 1 岩手県人連合会「新春の懇親会」
2月2日(日) 東天紅上野店
参加者：桜庭昌吾・久慈士郎・北田誠治
- 2 岩手県人連合会 令和7年度春季日赤献血街頭支援(池袋東口広場) 5月中旬予定
- 3 はまなす通信No.70号編集状況
2月中旬に発行予定

○協議

- 1 令和7年度第1回役員会(場所未定)
4月27日(日)
事務局出席予定
- 2 令和7年度総会・交流会実施(案)
6月22日(日)
会場：東天紅上野本店(予約済み)
- 3 日帰りレクリエーション
10月予定 担当：神奈川幹事
場所：千葉県松戸市 BBQ 会場
※野田村サポート会員にも声掛け
- 4 その他 新会員・役員の発掘を行う

【あとかき】

(M・Y)

- ◆大事な人とは誰なんだろう。
- ◆恋人、伴侶、親、兄弟、子供、家族、仲間、友人、幼馴染など。
- ◆何気ない「元気！」その一声が、どれほど生きる力になるか。
- ◆なんでも言えればいい、なんでも聞いて、ともに泣いて、ともに笑って、ともに楽しんで、それが生きる勇気に、希望になる。
- ◆人生の旅路を共に、全ての人が、
- ◆もれなく大事な一人一人だから。

○友好団体との交流

開催日	友好団体	場 所	出席者
6月15日	久慈高校同窓会東京支部	大手町サンケイ会館	桜庭顧問
7月14日	久慈地区高校東京同窓会	学士会館	久慈会長
10月6日	久慈ふるさと会	東天紅上野店	お祝いのみ
10月27日	ふるさと普代会	東京ガーデンパレス	久慈会長、志村副幹事長
11月4日	東京大野つばさ会	東天紅上野店	久慈会長
11月9日	在京軽米会	日暮里ラングウッドホテル	桜庭顧問、久慈会長
11月17日	東京様似会	上野精養軒	久慈会長